

学校評価 令和4年7月 改善策

人吉市立大畑小学校

	保護者	児童	教職員
教職員の資質・能力	○ 子どもたち一人一人に対してきめ細かい対応をしている。(+0.2) ○ 不祥事につながらない言動に努めている。(+0.2) 【改善】全ての項目で「全く当てはまらない」という回答がある。年度末には、当該回答者を半減するため、授業参観や学校行事等の機会を大切にするとともにHP等で啓発を図る。	すべての項目において「よく当てはまる」「ややあてはまる」と回答している。引き続き児童と教師の信頼関係を築いていく。 【改善】各項目に「全くあてはまらない。」と回答している児童が数名居る。全ての児童にとって心の居場所のある学級づくりを行う。(関係アンケートで進捗を把握する。)	メンバーが異なるため、昨年度の同時期の評価を大きく下回ったが、保護者、児童及び管理職等からの評価では、大きく低下した姿は見受けられない。 【課題】「学校組織の一員として、協力し合って組織的に学校の課題に対応できたか。」の項目で「あまり当てはまらない」回答を「0」にする。(チームで対応、組織の見直し)
自ら学ぶ力	○ 我が子は、家庭での学習が習慣化し、きちんと家庭学習に取り組んでいる。(+0.2) ◎ 我が子は、進んで読書をしている。(+0.3) 【改善】「授業参観の時に、進んで発表したり話し合ったりしている」場面を確実に届けるために、日頃から「子どもと教師の出番を7:3」にする授業実践を積み重ねる。	全ての項目において昨年度の同時期を上回っている。職員の共通理解のもと授業改善(7:3)がなされた結果だと言える。 【改善】個別最適化で協働的な学びを構築し、更に児童の「自ら学んでいる意識の向上」を目指す。そのために校内研修の充実と「授業を見合う週間」(SEO)での学びを深化する。	具体的実践事項を学級経営案の項目に置き換えて評価をしたため、経年変化(比較)は難しい。 「各努力目標」で「あまり当てはまらない」と回答したものを以下に記す。 【自ら学ぶ力】 ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得の手立てはとれたか。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりはできたか。 ・個に応じた指導の充実は図れたか。 ・家庭学習の充実はできたか。 ・読書活動の推進に努めたか。
関わり合う力	○ 我が子は、基本的生活習慣が身についている。(+0.2) ◎ 我が子は、人を差別したり悪口を言ったりすることがない。(+0.3) ◎ 我が子は、学校に行くことを楽しみにしている。(+0.2) 【改善】4/5項目で「全く当てはまらない」と回答した保護者が若干名いる。年度末には「0」になるように日々の教育実践に取り組むとともに、保護者への協力を依頼する。	すべての項目で9割近い達成率である。特に「学級のみんなとなかよく生活していますか。」や「学校のきまりを守っていますか。」が高位にある。 【改善】生きる上での基本となる進んであいさつや返事ができる児童を育てたい。そのため、「進んであいさつや返事」ができる習慣づくりや「ありがとう」を1日何回も言える児童を育てる。	【関わり合う力】 ・命の尊重と人権教育の充実に努めたか。
やりぬく力	◎ 我が子は、外で遊んだり、学校外でのスポーツに親しんだりしている。(+0.3) ○ 我が子は、健康に気をつけて生活している。(歯みがき、手洗い、うがい) (+0.2) 【改善】「我が子は、根気強くあきらめない心が育っている。」と感じていらっしゃる保護者が2名いる。合い言葉の「う」(動く!)を更に意識化・日常化する。	やりぬく力については昨年度と同等の結果が得られた。 【改善】今後は、「あなたは、何事にも根気強く取り組み、簡単にあきらめていませんか。」を向上させるための具体的な手立てを部会で企画し、学校総体で取り組む。また、「全く当てはまらない」と回答する児童を「0」にする。(焦点化した指導も必要)	【やりぬく力】 ・体力の向上に努めたか。 ・心のたくましさの育成に努めたか。 